

電車内の痴漢防止に係る研究会の報告書について

1 「電車内の痴漢防止に係る研究会」の経緯

平成22年10月、鉄道事業者、学者、弁護士等8名から構成される研究会を設置し、所要の調査、研究を行い、報告書（別添1）をとりまとめた。

2 調査等の概要（別添2）

- (1) 被疑者の意識調査（電車内の痴漢で検挙・送致された者219人対象）
- (2) インターネットによる意識調査（通勤・通学で電車を利用する16歳以上の男女3,256人対象）
- (3) グループ・インタビュー（東京圏に居住する男女40人対象）
- (4) 大学生へのアンケート（都内の私立大学生108人対象）
- (5) 電車内防犯カメラ設置実験
- (6) 首都圏における取締り強化

3 提言の概要

- (1) 警察への提言
 - 取締りと警戒の強化
 - 被害者が助けを求めやすく、被害届を出しやすい環境の整備
 - 適正捜査の推進
- (2) 鉄道事業者への提言
 - 駅構内等の警戒と電車内のアナウンスの継続
 - 女性専用車両拡大に向けての検討
 - 電車内防犯カメラ設置の検討
 - 電車内の痴漢多発箇所へのポスター等掲示の効果の検討
- (3) 職場・学校等への提言
 - 時差出勤・自宅勤務等への配慮
 - 被害を届け出た場合、被害を目撃等して協力した場合への配慮
 - 痴漢被害を発生させないための研修の実施

別添 1

電車内の痴漢撲滅に向けた取組みに関する報告書

平成23年 3 月

痴漢防止に係る研究会

目 次

第1	調査・研究の趣旨	1
第2	調査・実験等の概要	2
1	被疑者の意識調査	2
2	インターネットによる意識調査	2
3	グループ・インタビュー	3
4	大学生へのアンケート	4
5	電車内の防犯カメラ設置実験	4
6	首都圏における取締り強化	5
第3	電車内の痴漢撲滅に向けた取組み	8
1	警察における取組み	8
2	鉄道事業者における取組み	9
3	職場・学校等における取組み	11

第1 調査・研究の趣旨

電車内の痴漢事犯については、一般的に都道府県迷惑防止条例違反で検挙するが、悪質な行為は刑法の強制わいせつ事犯として扱う。

強制わいせつ、痴漢行為の推移(全国)

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
電車内における 強制わいせつの認知件数	497	420	438	413	340
迷惑防止条例違反のうち 痴漢行為の検挙件数 (電車内以外を含む)	4,719	4,181	4,515	4,041	3,880

日常生活の中において、通勤・通学に利用する電車の中で痴漢被害に遭った女性の中には、満員電車に乗ることができなくなったといった後遺症が残る場合もある。また、電車内の痴漢事犯は、しゅう恥心等から被害申告をしない者もいると予想されることから、犯罪統計だけでは測ることができない被害実態があると考えられ、こうした卑劣な犯罪を撲滅することが課題である。

そこで、電車内の痴漢事犯の実態を把握するための調査、電車内の防犯カメラの効果を検証するための実験を実施するとともに、首都圏における取締りの結果も踏まえて、有識者等から構成される研究会において協議を重ね、「電車内の痴漢撲滅に向けた取組みに関する報告書」としてとりまとめた。

研究会の体制及び開催状況は、別添のとおり。

第2 調査・実験等の概要

1 被疑者の意識調査

平成22年6月から7月にかけて、大規模都府県警察において、電車内の痴漢行為で検挙・送致された者219人に対し担当取調官を通じて実施した。

(1) 被疑者の年齢

30歳代74人(33.8%)、次いで、40歳代59人(26.9%)、20歳代36人(16.4%)

(2) 被疑者の職業

会社員112人(51.1%)、次いで、無職23人(10.5%)、アルバイトと大学生が各11人(5.0%)

(3) 路線(複数回答)

「通勤・通学の路線」147人(67.1%)、次いで、「たまたま乗車した路線」49人(22.4%)、「痴漢をやりやすいと情報を得ていた路線」7人(3.2%)

(4) 時間帯(複数回答)

「通勤・通学の時間」123人(56.2%)、次いで、「たまたま乗車した時間」66人(30.1%)、「混雑している時間」と「目を付けた女性が利用する時間」が各8人(3.7%)

(5) なぜその被害者だったのか(複数回答)

「偶然近くにいた」111人(50.7%)、次いで、「好みのタイプだった」74人(33.8%)、「訴え出そうにないと思った」20人(9.1%)

(6) 痴漢を行った箇所

「左右のドアとドアの間」126人(57.5%)、次いで、「座席の前」49人(22.4%)、「座席上」35人(16.0%)

2 インターネットによる意識調査

平成22年8月、東京・名古屋・大阪の3大都市圏に居住し、通勤・通学のため電車を利用している16歳以上の女性2,221人、男性1,035人、計3,256人に対し実施した。

(1) 女性の回答状況

ア 過去1年間に電車内で痴漢被害に遭った

304人(13.7%)

イ 痴漢に遭ったときとった行動(複数回答)

304人中、「我慢した」160人(52.6%)、次いで、「その場から逃げた」137人(45.1%)、「犯人に対して何らかの行動を起こした」82人(27.0%)

ウ 痴漢被害に遭っても警察に通報・相談していない

304人中、271人(89.1%)

エ 通勤・通学時に電車内で痴漢に遭うのではないかとの不安を感じている

947人（42.6%）

オ 電車内で痴漢に遭わないように気をつけていること（複数回答）

「特にない」817人（36.8%）次いで、「女性専用車両に乗る」761人（34.3%）

「座席の前に立つ」414人（18.6%）

(2) 男性の回答状況

ア 過去1年間に電車内で痴漢を目撃した

84人（8.1%）

イ 痴漢を目撃したときとった行動（複数回答）

84人中、「どのような行動もとらなかった」38人（45.2%）次いで、「被害者に声をかけた」27人（32.1%）、「犯人に働きかけた」22人（26.2%）

ウ 痴漢を捕まえて遅刻した場合、遅刻扱いしない決まり

「ある」61人（5.9%）

エ 通勤・通学時に電車内で痴漢に間違えられるのではとの不安を感じている

617人（59.6%）

オ 電車内で痴漢に間違われぬように気をつけていること（複数回答）

「両手でつり革を持つ」460人（44.4%）次いで、「手を上の方に上げておく」

428人（41.4%）「女性の近くに乘らない」426人（41.2%）

(3) 男女共通項目の回答状況

ア 痴漢防止に効果的だと思うこと（複数回答）

「女性専用車両」1,719人（52.8%）次いで、「電車内の防犯カメラ」1,476人（45.3%）「警察の取締り強化」1,255人（38.5%）

イ 電車内に防犯カメラを設置することについて

賛成2,721人（83.6%）反対535人（16.4%）

ウ 電車内の防犯カメラは痴漢防止に役立つと思うか

思うとする方2,740人（84.2%）思わないとする方516人（15.8%）

エ 電車内の防犯カメラはプライバシー侵害となると思うか

思うとする方1,550人（47.6%）思わないとする方1,706人（52.4%）

3 グループ・インタビュー

平成22年11月11日、東京圏に居住する女性17人、男性23人、計40人に対し実施した。

(1) 女性の声

（埼京線の防犯カメラ設置車両の）窓の部分に「防犯カメラがついています」とのステッカーが貼ってあったが、あれはすごくいい。

通報しても、仕事へ行くなり学校へ行くなり時間を割かれてしまう。

実際、痴漢に遭ったとしても、相談する場所は交番なのか、110番なのかとかい

うのが分からない。

啓蒙活動などが足りなすぎる。どこに連絡していいかも分からない。

相談先やこういうことは犯罪ですということを、電車の目に付くところに、分かりやすく書いてあげればいい。

周りが無関心すぎる。

(2) 男性の声

モラルの改善が必要。

企業の協力や各企業の教育が、非常に大事になってくる。

企業は、他のコンプライアンスの話は企画するが、痴漢に関しては、しているところはほとんどない。

小さい時からの教育で、痴漢とか女の子に関する道徳的な教育をやるしかない。

4 大学生へのアンケート

平成22年10月20日、本研究会の山本委員が、都内の私立大学において、大学生108人（女子学生56人、男子学生52人）に対し実施した。

(1) 女子学生の結果

ア 「どうすれば通報しやすいか。」との記述式の質問に対し、39人から回答があった。主な回答は次のとおり。

女性の駅員、女性警察官を通報窓口に配置 17人

短時間で事件処理ができれば 7人

イ 「痴漢対策で希望することは。」との記述式の質問に対し、26人から回答があった。主な回答は次のとおり。

女性専用車両の増加、時間の拡大 11人

防犯カメラの設置 2人

(2) 男子学生の結果

「どうすれば、どうであれば被害者を援助することができると思うか。」との記述式の質問に対し、52人全員から回答があった。主な回答は次のとおり。

女性が声を上げるなど、痴漢に遭っていることが明確に分かれれば 13人

冤罪に荷担するおそれがあるので、援助できない 6人

女性専用車両を増やす 5人

防犯カメラなど証拠が確保されれば 3人

5 電車内の防犯カメラ設置実験

平成22年11月10日、11日、車両基地に停車中の電車車両に乗客エキストラを配置し、痴漢被害の発生抑止等に効果のある防犯カメラの設置位置、画角（撮影範囲）、画像品

質について調査・検証した。

(1) 条件

- ア 車両は、車体長概ね20メートル、片側4扉の中間車両で、ロングシートの座席
- イ 車内吊り広告を設置
- ウ エキストラを配置し、混雑度を約100%、約150%、約200%として想定
- エ 標準カメラ及び高精細カメラ（標準、広角、超広角レンズを装着）、全方位カメラ（魚眼レンズ）、超小型カメラ、旋回カメラを設置し撮影

(2) 結果

ア 画角

撮影対象を捉えるためには、超広角レンズが有用と判断する。

イ カメラと設置位置

(ア) 標準カメラ（超広角レンズ、扉付近に対向で2台設置）

扉付近で近接撮影でき、人物の顔、動きが判断できる。対向で設置することで、混雑時に両側からカバーできる。

(イ) 標準カメラ（超広角レンズ、扉間中央に設置）

1台で、扉付近に設置したカメラより広い範囲の状況が撮影できる。ただし、車両によっては、吊広告が視界をさえぎるおそれがある。

(ウ) 全方位カメラ

画像の歪みが大きく、対象物との遠近差が激しくなるため、実用に向かない。

(エ) 超小型カメラ

固定レンズであるが、扉間中央に設置したカメラと遜色ない。ただし、標準カメラと同程度の画角、画質が求められる。

(オ) 旋回カメラ

旋回中に撮影されない範囲が生じる上、旋回動作を持続させると、可動部分に負担がかかりすぎるため、実用に向かない。

ウ 録画画像の圧縮度

人物の判別を明確にするためには、高画質が有用と判断する。

エ 画像の解像度

標準カメラで十分な画質が得られると判断する。

オ 画像の動き

動きを判別するには、フレームレート（1秒当たりのコマ数）5 f p s が、適度な映像量と判断する。

6 首都圏における取締り強化

(1) 実施期間

平成22年 1月8日から15日、4月15日から21日、9月6日から10日の間

(2) 検挙状況

内訳	電車内での強制わいせつ	8件	8人
	電車内での痴漢	122件	121人
	電車内での盗撮	5件	5人
	電車内での公然わいせつ	1件	1人
	駅施設内での盗撮等	25件	25人
	計	161件	160人

ア 路線別（期間中6件以上の路線）

12件	埼京線
10件	中央線
9件	京王線
8件	東海道線
6件	小田急線、田園都市線、総武線

イ 時間帯

4～6時台	7～9	10～12	13～15	16～18	19～21	22～0
2	89	7	2	19	25	17

7～9時台が55.3%

ウ 被害者

年齢	14歳以下	15～19	20～24	25～29	30歳代	40歳以上	
	4	77	35	22	14	3	
職業等	中学生	高校生	大学生	専門学校生	会社員	その他	無職
	5	56	19	7	40	13	15

15～19歳が49.7%、20歳代が36.8%

高校生が36.1%、会社員が25.8%

エ 被疑者

年齢	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	9	39	50	37	20	5
職業等	会社員	自営業	その他	学生	無職	
	98	3	20	11	28	

会社員が61.3%

(3) 検挙事例

ア 被害女性は、通勤に利用している電車内で、被疑者に手を掴まれて、その下半身を無理矢理に触らされる被害に遭い、被疑者を捕まえ警察に通報した。

なお、被害者の精神的ダメージは大きく、通勤時間帯の満員電車に乗ることができなくなり、出勤時間をお昼からにずらしている状態が続いている。

イ 被害女性から、「通勤の電車内で、毎日同じ男から痴漢被害を受けている。会社まで後を付けられた時もある。会社や家を知られて、つきまとわれるのではないかと思いますと不安で、怖くて夜も眠れません。」との相談を受理し、同行警乗により、被疑者を逮捕した。

ウ 被害女性から、「通勤の電車内で、痴漢の被害を受け続けている。恥ずかしい思いをしているので取り締まってほしい。」との相談を受理し、同行警乗により、被疑者を逮捕した。

なお、被害女性は、精神的なストレスから、仕事が手につかず不安感が続くなど、情緒不安定であったが、検挙後は精神面も安定した。

第3 電車内の痴漢撲滅に向けた取組み

被疑者の意識調査や取締り結果からは、「30歳代・40歳代の会社員が、通勤時間帯に、通勤で利用している路線の電車内で、偶然近くにいた被害者に目を付けて、痴漢行為に及んだ例が最も多い。」との犯行実態が浮かび上がった。

研究会としては、このような犯行を被害者の対応だけで防ぐことは不可能であり、電車を利用する方すべての問題として、警察、鉄道事業者及び職場・学校等が連携し、下記の取組みを実施することにより、痴漢被害を発生させない環境を形成していくことを提言する。

1 警察における取組み

(1) 取締りと警戒

インターネットによる意識調査では、痴漢を防止するために効果的なものとして、「警察の取締り強化」、「駅や電車内での警察官やガードマンの警戒」を選んだ方がそれぞれ38.5%を占めた（複数回答）。

これは、警察における取締りと警戒活動を評価し、これらの活動の継続を求めているものと判断される。

都道府県警察においては、取締りや警戒、被害防止キャンペーン等各種の対策が実施されているが、被疑者の意識調査等から明らかとなった多発時間帯、多発路線、電車内での多発箇所を重点として、取締りと警戒が強化されることが必要である。

(2) 被害者が助けを求めやすく、被害届を出しやすい環境の整備

インターネットによる意識調査では、過去1年間に痴漢被害に遭った女性のうち、警察に通報・相談していない方が89.1%を占め、また、80.9%の方が、被害に遭った際「我慢した」、「その場から逃げた」と回答した（複数回答）。

グループ・インタビューでは、女性から、「相談する場所が分からない」、「啓蒙活動が足りない」などの声が寄せられた。

本研究会委員から提供を受けた、大学生に対するアンケート結果では、女子大学生に「どうすれば通報しやすいか」と質問したところ、「女性駅員、女性警察官を通報窓口配置」との回答が最も多かった。

これらの結果からは、女性の多くが被害に遭っても声を上げることができない上、男性の駅員や男性警察官には相談できないと考えていること、既存の通報・相談窓口が女性に周知されていないことがうかがえる。

したがって、被害者の事情聴取にできる限り女性警察官を当てるなどの工夫がなされるとともに、通報手段や通報・相談先（痴漢被害相談所、女性相談所など）を周知するなど、広報活動が強化される必要がある。

なお、広報活動は、新入社員や新入生に訴えかける効果を考慮し、新年度に実施することが効果的と考える。

(3) 適正捜査の推進

電車内の痴漢事犯については、平成21年4月14日、最高裁判所第三小法廷において、被告人に対し無罪判決を言い渡したのものがある。

インターネットによる意識調査でも、通勤・通学時に電車内で痴漢に間違えられるのではないかと不安を感じている男性は59.6%であった。

本研究会委員から提供を受けた、大学生に対するアンケート結果では、男子大学生に「どうすれば、どうであれば（痴漢）被害者を援助することができると思うか」と質問したところ、52人中6人が「冤罪に荷担するおそれがあるので援助できない」と回答した。

警察では、前述の判決等を受け、平成21年6月25日付けで「電車内における痴漢事犯への対応について」と題する通達を全国の都道府県警察に発出している。

同通達では、目撃者等の確保、実況見分等証拠保全の徹底等について指示されており、電車内の痴漢事犯に対して、引き続き、適正捜査が推進される必要がある。

2 鉄道事業者における取組み

電車内の痴漢撲滅に向けては、以下に示すように、鉄道事業者が施設を管理する立場から取り組むべき点が認められるとともに、その取組みに際しては、警察や国土交通省が、これまで以上の情報提供や支援をなすべきものとする。

(1) 駅構内等の警戒と電車内でのアナウンス

インターネットによる意識調査では、痴漢を防止するために効果的なものとして、「駅や電車内での警察官やガードマンの警戒」を選んだ方が38.5%、「電車内での抑止を促すアナウンス」を選んだ方が30.3%を占めた（複数回答）。

これは、鉄道事業者による警戒活動や電車内でのアナウンスを評価し、これらの活動の継続を求めているものと判断される。

鉄道事業者においては、ガードマン等による駅構内等の警戒や、車内放送による呼びかけが実施されているが、被疑者の意識調査等から明らかとなった多発時間帯、多発路線、電車内での多発箇所を中心として、駅構内等の警戒と電車内でのアナウンスが継続されることが必要である。

(2) 女性専用車両

女性専用車両は、痴漢被害から女性を保護するという趣旨で行われているものであ

り、平成22年末現在、全国で、31事業者、81路線において導入されている。

インターネットによる意識調査では、

男女3,256人に、痴漢を防止するために効果的だと思うことについて質問したところ、「女性専用車両」を選んだ方が52.8%と最多（複数回答）

女性2,221人に、痴漢に遭わないように気をつけていることについて質問したところ、「女性専用車両に乗る」を選んだ方が34.3%（複数回答）

上記 について、通勤・通学で女性専用車両設置路線を利用していることが確認できた女性1,237人で見ると、「女性専用車両に乗る」を選んだ方は40.9%（複数回答）

上記 について、通勤・通学時に電車内で痴漢に遭うのではないかとの不安を感じていると回答した女性947人で見ると、「女性専用車両に乗る」を選んだ方は44.1%（複数回答）

の結果であり、女性専用車両は、有効に活用されているものと判断される。

また、被疑者の意識調査から見られる犯行実態は、

なぜ、その被害者だったのかとの質問に対し、「偶然近くにいたから」が最も多く50.7%、次いで「好みのタイプだったから」が33.8%（複数回答）

時間帯や路線は、「通勤時間帯に、通勤路線での犯行」が約6割と最多（複数回答）

であった。痴漢被害に遭っても声を上げられない女性にとって、これを防ぐ有効な手段は、そのような機会を作らせないことであり、女性専用車両を利用することが効果的と考えられる。

女性専用車両の導入に際しては、駅の構造、ホームや車両の混雑度合い、電車の車両編成などを考慮する必要があるが、女性専用車両の拡大に向けて検討がなされる必要がある。

(3) 電車内防犯カメラ

インターネットによる意識調査では、

痴漢を防止するために効果的なものとして、「電車内の防犯カメラ」を選んだ方が45.3%（複数回答）

電車内に防犯カメラを設置することについてどう思うか質問したところ、賛成とする方が83.6%

電車内の防犯カメラは痴漢防止に役立つと思うか質問したところ、そう思うとする方が84.2%

電車内の防犯カメラはプライバシー侵害となるか質問したところ、そう思うとする方が47.6%

の結果であり、電車利用者は、プライバシーの侵害になるかもしれないが、電車内の痴漢を防ぐためには、防犯カメラが効果的と考えているものと判断される。

電車内の防犯カメラ設置実験の結果、痴漢被害の発生防止や捜査に一定の効果があるカメラの設置位置、画角（撮影範囲）、画像品質が確認され、これを踏まえたモデルケースが示された。

【電車内の防犯カメラモデルケース】

カメラの設置位置	扉付近	車両タイプによって、設置方法の選定が必要
	扉間中央	
画角	超広角	水平画角 約100°
画像の解像度	標準カメラ	640×480ドット相当
録画画像の圧縮度	高画質	画像1枚のデータ量 JPEG圧縮方式 43KB相当
画像の動き	5枚/秒以上	
機器構成	カメラ記録方式	車両への取付方法や運用方法によって、選定が必要
	専用記録装置方式	

電車内への防犯カメラ導入は、鉄道事業者にとって経済的負担となることから、本モデルケースにおいては、4通りの機器構成と整備に係る費用（取付等の作業費を除く、資機材の参考価格）を示している。

以上のことを踏まえ、経済的負担を考慮しつつ、電車内の防犯カメラ設置について検討がなされる必要がある。

(4) 電車内の多発箇所へのポスター等の掲示

グループ・インタビューでは、女性から、「相談先を知らせたり、痴漢を防ぐためには、電車内の目に付くところに、分かりやすく書いてあればいい」、「電車の窓の部分に『防犯カメラがついてます』とのステッカーが貼ってあったが、あれはすごくいい」などの声や、前述のとおり、「相談する場所が分からない」との声が寄せられた。

これは、現実に痴漢被害に遭う電車の中に、被害の通報や防止に関するメッセージが表示されることを求めているものと判断される。

これらを踏まえ、電車内での多発箇所である「左右のドアとドアの間」付近に、届出・相談先の告知や抑止等呼びかけるポスター、ステッカー等の掲示を行うことの効果について、検討がなされる必要がある。

3 職場・学校等における取組み

(1) 時差出勤等への配慮

インターネットによる意識調査では、痴漢を防止するために効果的なものとして、「時差出勤」と答えた方が31.7%を占め（複数回答）、自由回答で混雑緩和を求める声は108人から寄せられた。

また、被疑者の意識調査や取締り結果からも、著しい混雑が痴漢発生の要因の一つとなっていることが見受けられる。

これらを踏まえ、職場において、時差出勤、自宅勤務等への配慮について、検討がなされる必要がある。

(2) 被害を届け出た場合、被害を目撃等して協力した場合への配慮

インターネットによる意識調査で、「通勤・通学の途中に、電車内で痴漢を捕まえて会社や学校に遅刻した場合、会社や学校において、遅刻扱いしないなどの決まりはあるか」との質問に対し、決まりがあると回答した男性は5.9%であった。

また、グループ・インタビューでは、女性から、「通報しても仕事へ行くなり、学校へ行くなり時間を割かれてしまう」などの声が寄せられた。

電車内の痴漢事犯は証拠に乏しく、被害者や目撃者の供述により事実認定が行われることが多いことから、被害を届け出た場合や、被害を目撃等して協力した場合、一定程度の時間がとられることは致し方のない面がある。

以上のことを踏まえ、職場や学校等において、被害を届け出た場合や、被害を目撃等して協力した場合について配慮がなされる必要がある。

(3) 痴漢被害を発生させないための研修の実施

取締り結果を見ると、電車内の痴漢事犯の被害者は、

年齢では、15～19歳が49.7%で最も多く、次いで、20歳代が36.8%

職業では、高校生が36.1%で最も多く、次いで、会社員が25.8%

であった。

また、被疑者の意識調査等の結果を見ると、被疑者の5割から6割が会社員である一方、インターネットによる意識調査では、通勤・通学時に痴漢に間違われるのではないかと不安を抱えている男性も約6割の結果であった。

以上のことを踏まえ、被害女性だけではなく、通勤・通学に電車を利用する方すべての問題として、職場や学校等において、痴漢防止に係る研修を実施することが、痴漢被害を発生させないために有効であると考えられる。

【研修内容（参考例）】

ア 被害者にならないよう気をつける（女性向け）

声を上げられない女性にとっては、痴漢被害に遭わないよう事前に対処することが大切である。

女性専用車両を利用する

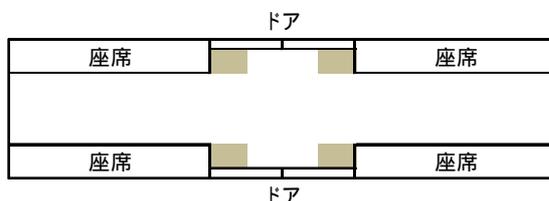
被疑者の意識調査では、「偶然近くにいたから」が最も多く50.7%、次いで「好みのタイプだったから」が33.8%（複数回答）。偶然の犯行を事前に予測することは困難であり、これを防ぐ最も有効な手段は、そのような機会を作らせないことである。

可能な範囲で、混雑する時間帯・路線を避ける

被疑者の意識調査では、「通勤時間帯に、通勤路線での犯行」が約6割と最も多い（複数回答）。

左右のドアとドアの間、特に四隅付近を避ける

女性専用車両がなく、混雑する時間帯・路線に乗らなければならないことも。被疑者の意識調査では、「左右のドアとドアの間での発生」が約6割と最も多い。



その他の対策

混雑の著しい時間帯・路線では、ドア付近を避けることができない場合もあるが、次のような対策を講じることが可能である。

- ・ 女性の近くに乗り
- ・ 友人や家族と一緒に乗り
- ・ イヤホンやヘッドホンを使わない
- ・ 周囲に気をつける
- ・ カバン等でガードする

イ 被害者の痛みを知る（男性向け）

警察が認知した事例では、被害に遭った女性が、「通勤時間帯の満員電車に乗ることができなくなった」、「精神的なストレスから、情緒不安定になった」、「つきまとわれるのではないかと不安から、夜も眠れなくなった」など、深刻な影響を受けているケースもある。

男性が、被害女性の受ける精神的苦痛の深刻さを理解することが、電車内における痴漢行為を抑止し、下記ウの「見て見ぬふりせず助け合う」ことにつながる。

ウ 見て見ぬふりせず助け合う（男女共通）

インターネットによる意識調査の自由回答では、「見て見ぬふりをしない」、「周囲の人が助ける」、「一人一人の意識が変わることが大切」との趣旨の回答をした方が84人に上り、グループインタビューでも、同様の意見が寄せられた。

他方、本研究会委員から提供を受けた大学生のアンケート結果では、男子大学生

に「どうすれば、どうであれば（痴漢）被害者を援助することができると思うか」と質問したところ、「女性が声を上げるなど被害に遭っていることが明確に分らなければできない」との回答が最も多かった。

また、本研究会においても、どこからが痴漢になるのか、一般の人には分からないのではないかと意見が出された。

単に、痴漢を目撃したから犯人を捕まえる、痴漢ではないかと疑わしいから被害女性に声を掛けるだけではなく、困った人がいたら声を掛けるなど、無関心を解消することから始め、良識ある社会の目を形成していくことが大事である。

電車内が、見て見ぬふりせず、助け合う空間になるよう、職場や学校等において意識付けをすることが、痴漢防止につながり、ひいては、犯罪の起きにくい社会づくりにつながる。

エ 電車のマナーを守る（男女共通）

電車内における痴漢の多発箇所が、左右のドアとドアの間であることは、この箇所の混雑が著しいことに要因があると考えられる。

この箇所が混雑する理由として、乗降に便利なのが上げられるが、左右のドアとドアの間に密集しないようにするため、声を掛け合い、譲り合って乗降するなどの、電車内でのマナーがより周知され実行されれば、ドア付近の密集が緩和され、痴漢の防止にもつながる。

【研究会の体制】

【委員】		(敬称略)
山本 功	淑徳大学コミュニティ政策学部准教授	
塗師 純子	弁護士	
渡利 千春	東日本旅客鉄道株式会社総務部次長	
内山 裕道	東京都交通局電車部営業課長	
伊吹 昌祐	東急車輛製造株式会社車両事業部開発企画部主任技師	
砂川 俊哉	警察庁生活安全局生活安全企画課長	
青山 彩子	警視庁生活安全部生活安全総務課長	
【オブザーバー】		
黒鳥 孝則	国土交通省鉄道局鉄道業務政策課専門官	

【研究会の開催状況】

	日程	主な議題
第1回	平成22年10月1日	1 被疑者の意識調査の結果について 2 インターネットによる意識調査の結果について
第2回	平成22年11月26日	1 グループ・インタビューの結果について 2 痴漢防止のノウハウについて 3 痴漢被害を発生させない環境づくりについて
第3回	平成23年1月27日	1 電車内の防犯カメラ設置実験の結果について 2 電車内の痴漢撲滅に向けた取組みについて

別添 2

調査等の結果

資料 1 被疑者の意識調査

資料 2 インターネットによる意識調査

資料 3 グループ・インタビュー

資料 4 大学生へのアンケート

資料 5 電車内の防犯カメラ設置実験

資料 6 首都圏における取締り強化

資料 1

被疑者の意識調査

1 調査要領

(1) 実施時期

平成22年 6月～7月

(2) 実施都府県

警視庁、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県

(3) 実施対象

実施都府県の迷惑防止条例違反のうち痴漢行為で検挙され身柄送致又は書類送致された被疑者で、実行行為の場所が電車内であるもの219人について、取調官が通常の取調べの範囲で把握した事項に基づいて調査した。

30歳代・40歳代の会社員が、通勤時間帯に、通勤で利用している路線の電車内で、偶然近くにいた被害者に目を付けて、痴漢行為に及んだ例が最も多い。

電車内の発生箇所は、左右のドアとドアの間が多い。

2 調査結果

(1) 被疑者の年齢・職業

30歳代	74	33.8%
40歳代	59	26.9%
20歳代	36	16.4%
50歳代	26	11.9%
60歳代	13	5.9%
10歳代	10	4.6%
70歳代	1	0.5%
	219	100.0%

会社員に限ると、40歳代が最も多く35人（31.3%）、次いで、30歳代が32人（28.6%）であった。

会社員	112	51.1%
無職	23	10.5%
アルバイト	11	5.0%
大学生	11	5.0%
公務員	8	3.7%
派遣社員	8	3.7%
飲食店従業員	6	2.7%
高校生	5	2.3%
作業員	5	2.3%
自営業	5	2.3%
会社役員	3	1.4%
警備員	3	1.4%
専門学校生	3	1.4%
プログラマー	3	1.4%
その他	13	5.9%
	219	100.0%

(2) なぜ、この路線だったのか（複数回答可）

通勤・通学の路線だった	147	67.1%
たまたま乗車した路線だった	49	22.4%
痴漢をやりやすい路線であると情報を得ていたから	7	3.2%
混雑している路線だから	6	2.7%
目を付けていた女性が利用している路線だから	6	2.7%
特に理由はない	1	0.5%
その他	16	7.3%
	219 (総計232)	100%

「通勤・通学の路線だった」が最も多く、会社員に限ると、91人（81.3%）であった。

(3) なぜ、この時間だったのか（複数回答可）

通勤・通学の時間だった	123	56.2%
たまたま乗車した時間だった	66	30.1%
混雑している時間だから	8	3.7%
目を付けていた女性が利用している時間だから	8	3.7%
特に理由はない	5	2.3%
痴漢をやりやすい時間であると情報を得ていたから	2	0.9%
その他	21	9.6%
	219 (総計233)	100%

「通勤・通学の時間だった」が最も多く、会社員に限ると、74人（66.1%）であった。

(4) 動機は何か（複数回答可）

痴漢をすると興奮するから	109	49.8%
混雑していて発覚しないと思ったから	35	16.0%
飲酒して気持ちが大きくなっていたから	32	14.6%
ストレスがたまっていたから	15	6.8%
インターネットで痴漢のサイトを見てやってみたいと思ったから	6	2.7%
痴漢のビデオやDVDを観てやってみたいと思ったから	4	1.8%
痴漢の現場を見たことがあったから	1	0.5%
その他	46	21.0%
無回答	21	9.6%
	219 (総計269)	100%

その他としては、「混雑で密着したり、電車の揺れで偶然触れたりして、興奮したから」とするものが11人と多かった。

(5) なぜ、その被害者だったのか（複数回答可）

偶然近くにいたから	111	50.7%
好みのタイプだったから	74	33.8%
訴え出そうにないと思ったから	20	9.1%
好みの服装だったから	17	7.8%
服装が派手だったから	4	1.8%
その他	14	6.4%
無回答	18	8.2%
	219 (総計258)	100%

「偶然近くにいたから」が最も多く、会社員に限ると、66人（58.9%）であった。

(6) その被害者に目を付けたのはいつか

検挙されたその日	177	80.8%
検挙された日より前で、1週間以上1か月未満	8	3.7%
検挙された日より1か月以上前	8	3.7%
覚えていない	4	1.8%
検挙された日より前で、1週間未満	3	1.4%
無回答	19	8.7%
	219	100.0%

(7) その被害者に目を付けたのはどこか

電車の中で	171	78.1%
駅のホーム上で	21	9.6%
覚えていない	5	2.3%
ホーム以外の駅の施設の中で	2	0.9%
駅以外の場所で	0	0.0%
無回答	20	9.1%
	219	100.0%

(8) 痴漢行為に及ぶ際に、電車内での立ち位置を考えたか

考えなかった	108	49.3%
考えた	41	18.7%
あまり考えなかった	29	13.2%
やや考えた	13	5.9%
無回答	28	12.8%
	219	100.0%

(9) 痴漢行為に及ぶ前に、被害者に対して、カバン等を押し付けたり、肘で突いたり、偶然触れたように装うなどして、その反応を見るようなことをしたか

しなかった	118	53.9%
した	79	36.1%
無回答	22	10.0%
	219	100.0%

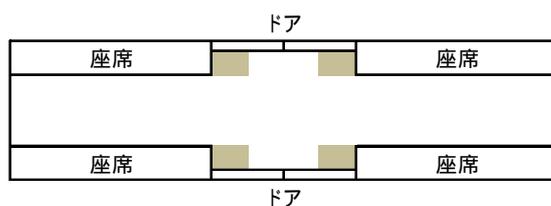
(10) 前問の「した」のケースにおいて、被害者は、「にらみつける、手を払う、体の向きを変える、声を上げる」など拒否の意思表示をしたか

しなかった	45	57.0%
した	27	34.2%
分からない	7	8.9%
	79	100.0%

(11) 痴漢を行った箇所

左右のドアとドアの間	126	57.5%
座席の前	49	22.4%
座席上	35	16.0%
不明	9	4.1%
	219	100.0%

左右のドアとドアの間での発生が約6割で、特に、四隅付近が多い。



資料 2

インターネットによる意識調査

1 調査方法等

痴漢事犯が被害者のしゅう恥心を利用して行われる犯罪であることにかんがみ、非面接で匿名性の高いインターネットを用いた実態把握を行った。

調査は、東京・名古屋・大阪の3大都市圏に居住し、通勤・通学のため電車を利用している16歳以上の男女を対象として、平成22年8月3日から同9日までの間に実施し、女性2,221人、男性1,035人、計3,256人の回答があった。

2 女性の回答状況

回答	実数	%
10歳代	128	5.8
20歳代	784	35.3
30歳代	769	34.6
40歳代	487	21.9
50歳代	53	2.4
60歳以上	0	0.0
不明	0	0.0
全体	2221	100.0

回答	実数	%
埼玉県	241	10.9
千葉県	188	8.5
東京都	834	37.6
神奈川県	359	16.2
愛知県	134	6.0
大阪府	317	14.3
兵庫県	148	6.7
不明	0	0.0
全体	2221	100.0

回答	実数	%
JR線	876	39.4
東急線	119	5.4
西武線	80	3.6
東武線	52	2.3
京急線	48	2.2
京成線	27	1.2
京王線	89	4.0
小田急線	87	3.9
相鉄線	19	0.9
名鉄線	23	1.0
近鉄線	15	0.7
阪急線	62	2.8
阪神線	16	0.7
京阪線	20	0.9
南海線	14	0.6
東京メトロ	275	12.4
都営地下鉄線	88	4.0
横浜市営地下鉄	15	0.7
名古屋市営地下鉄	70	3.2
大阪市営地下鉄	164	7.4
その他	62	2.8
不明	0	0.0
全体	2221	100.0

回答	実数	%
午前6時台	26	1.2
午前7時台	705	31.7
午前8時台	1053	47.4
午前9時台	135	6.1
午前10時台	16	0.7
午前11時台	6	0.3
午後0時台	5	0.2
午後1時台	1	0.0
午後2時台	1	0.0
午後3時台	3	0.1
午後4時台	3	0.1
午後5時台	30	1.4
午後6時台	84	3.8
午後7時台	72	3.2
午後8時台	35	1.6
午後9時台	20	0.9
午後10時以降	26	1.2
不明	0	0.0
全体	2221	100.0

過去1年に電車内で被害に遭った経験があるもの(複数回答)

回答	実数	%
痴漢行為	304	13.7
スリ・置き引き	38	1.7
口論・けんか	195	8.8
暴力行為	58	2.6
経験はない	1757	79.1
不明	0	0.0
全体	2221	100.0

痴漢被害の内容(複数回答)

回答	実数	%
自分の体を触られた	257	84.5
痴漢に体を押し付けられた	148	48.7
カメラ等で盗撮された	14	4.6
鏡等でのぞき見された	9	3.0
その他	4	1.3
不明	0	0.0
非該当	1917	
全体	304	100.0

その他の内容(抜粋)

- ・胸元を覗かれていた
- ・変なちょっかいをかけられた
- ・うなじに息を吹きかけられた

痴漢に遭ったときとった行動(複数回答)

回答	実数	%
我慢した	160	52.6
その場から逃げた	137	45.1
犯人に対して何らかの行動を起こした	82	27.0
周囲の人に助けを求めた	19	6.3
犯人を捕まえた	12	3.9
駅員に通報した	20	6.6
警察に通報した	8	2.6
その他	8	2.6
不明	0	0.0
非該当	1917	
全体	304	100.0

その他の内容(抜粋)

- ・気付かなかった。降りる直前に気づき遅かった
- ・押し付けてきたとき、痴漢かどうか様子見していた
- ・捕まえようとしたが、人混みの流れで誰か分からなくなってしまった
- ・近くの人が捕まえてくれた
- ・降車のどさくさに紛れてのことで、人の波に押されて何もできなかった

「我慢した」、「その場から逃げた」のいずれか又は双方を選んだ方は、246人であり、痴漢被害に遭った方304人のうち、80.9%が「我慢した」、「その場から逃げた」と回答したことになる。

痴漢に遭ったとき我慢した、その場から逃げた理由(複数回答)

回答	実数	%
恥ずかしかったから	57	23.2
怖くて何もできなかったから	111	45.1
我慢すれば済むと思ったから	62	25.2
逃げれば済むと思ったから	76	30.9
周りの人が助けてくれないから	47	19.1
警察沙汰になるのは面倒だから	43	17.5
犯人が誰か分からなかったから	53	21.5
その他	23	9.3
不明	0	0.0
非該当	1975	
全体	246	100.0

で「我慢した」、「その場から逃げた」のいずれか又は双方を選んだ方、246人に質問したもの

その他の内容(抜粋)

- ・混み過ぎて身動きがとれなくて、はっきり分からないので
- ・対処の仕方が分からない
- ・朝は時間がないから
- ・気持ち悪くて関わりたくないから
- ・混み合っていて捕まえる間がなかった
- ・電車が混雑しすぎて身動きが全くとれなかった
- ・電車のドアが開いて降りる瞬間に触られたので、そのまま出るしかなかった
- ・降りる駅だったから
- ・その後時間を取られるのが面倒だったから
- ・わざと触っているのか確信が持てなかった
- ・会社に間に合わない

犯人に対して起こした具体的行動内容(複数回答)

回答	実数	%
にらみつけた	42	51.2
手を振り払った	41	50.0
体の向きを変えた	47	57.3
バッグ等の持ち物でブロックした	48	58.5
行為を止めるよう告げた	21	25.6
その他	17	20.7
不明	0	0.0
非該当	2139	
全体	82	100.0

その他の内容(抜粋)

- ・真後ろの人だったため、足を踏みつけてその際に逃げた
- ・犯人が降りる時に後ろに回って、靴のかかとを踏みつけてこけさせた
- ・爪をたて犯人の手をかきむしった
- ・手をつねった
- ・携帯で手を思い切り打ちつけた
- ・咳払い

周囲の人に助けを求めた行動の具体的内容
(複数回答)

回答	実数	%
声を上げた	11	57.9
防犯ブザーを鳴らした	3	15.8
メールを打った	7	36.8
携帯電話を鳴らした	8	42.1
その他	3	15.8
不明	0	0.0
非該当	2202	
全体	19	100.0

どのように犯人を捕まえたか(複数回答)

回答	実数	%
1人で	8	66.7
周りの人と協力して	6	50.0
駅員に通報して	5	41.7
警察に通報して	3	25.0
その他	0	0.0
不明	0	0.0
非該当	2209	
全体	12	100.0

その他の内容

- ・気付いてもらうように体を動かした
- ・隣の人に話しかけ助けてもらった
- ・目配せ

警察に通報・相談したか

回答	実数	%
警察に通報した、又は、警察に相談した	33	10.9
警察に通報したり、相談したりしていない	271	89.1
不明	0	0.0
非該当	1917	
全体	304	100.0

通報・相談の際の警察の対応

回答	実数	%
良かった	11	33.3
やや良かった	12	36.4
あまり良くなかった	4	12.1
悪かった	6	18.2
不明	0	0.0
非該当	2188	
全体	33	100.0

警察に通報・相談しない理由

回答	実数	%
警察沙汰になるのは面倒だから	83	30.6
犯人が捕まらないと思うから	55	20.3
事情聴取等に時間がかかりそうだから	72	26.6
二次被害を受けそうだから	29	10.7
警察官に話すのが恥ずかしいから	14	5.2
その他	18	6.6
不明	0	0.0
非該当	1950	
全体	271	100.0

その他の内容（抜粋）

- ・痴漢なのか確証が持てないので
- ・きりが無い
- ・相談してたら、仕事に遅刻するから
- ・そこまで大したことをされたわけじゃなかったから
- ・相手が意図的だったかどうか判断がつかないから
- ・疑わしいだけで確定ではなかったから
- ・証拠がないから
- ・本格的な被害には遭っていないから
- ・確証が持てないから
- ・犯人がいなくなったのに言ってもだめだと思ったから
- ・具体的に犯人がどの人か分からなかった
- ・よくあることでいちいち相談するのは迷惑だと思ったから
- ・駅員さんに通報、相談したから

通勤・通学時に電車内で痴漢に遭うのではないかと不安

回答	実数	%
感じている	254	11.4
やや感じている	693	31.2
あまり感じていない	914	41.2
感じていない	360	16.2
不明	0	0.0
全体	2221	100.0

痴漢に遭うのではないかと不安感の変化

回答	実数	%
以前より良くなっている	435	19.6
以前と変わらない	1686	75.9
以前より悪くなっている	100	4.5
不明	0	0.0
全体	2221	100.0

		回答者数	痴漢に遭うのではないかと不安感の変化		
			以前より良くなっている	以前と変わらない	以前より悪くなっている
回答者全体		2221	435	1686	100
		100.0	19.6	75.9	4.5
通勤・通学時に電車内で痴漢に遭うのではないかと不安	感じている	254	44	168	42
		100.0	17.3	66.1	16.5
	やや感じている	693	139	515	39
		100.0	20.1	74.3	5.6
あまり感じていない		914	198	707	9
		100.0	21.7	77.4	1.0
感じていない		360	54	296	10
		100.0	15.0	82.2	2.8

電車内で痴漢に遭わないように気をつけていること(複数回答)

回答	実数	%
女性専用車両に乗る	761	34.3
混雑する時間帯を避ける	360	16.2
友人や家族と一緒に乗る	112	5.0
座席の前に立つ	414	18.6
ドアの近くに立たない	285	12.8
つり革を持たない	55	2.5
イヤホンやヘッドホンを使わない	102	4.6
その他	139	6.3
特になし	817	36.8
不明	0	0.0
全体	2221	100.0

その他の内容(抜粋)

座る(21件)

- ・必ず座る
- ・ドアの近くの席に座る

周囲に気をつける(19件)

- ・不自然かもしれないが時々周りを確認する
- ・よく回りを確認しながら乗車する

女性の近くに立つ/座る(17件)

- ・女性が多い車両に乗る
- ・なるべく女性の近くに立つ

鞆等でガードする(17件)

- ・大きめのかばんを持ち身体をガードする
- ・バックで胸や脇をガードする

服装に気をつける(15件)

- ・ファッションをカジュアルにして女性を強調させないようにしている
- ・パンツスタイル中心の服装をする

あやしい人を避ける(12件)

- ・乗る前に周辺に注意する。痴漢する奴は大概分かる
- ・変な人がいたら、乗っている車両を変える

痴漢を寄せ付けない雰囲気を作る(10件)

- ・気を張っておく
- ・常に不機嫌でイヤそうな顔をしている

混雑を避ける(9件)

- ・混雑する路線を避ける
- ・混雑する駅を避けて乗り換えする

乗車場所に気をつける(8件)

- ・最後尾の車両の車掌の目の前の位置に立つ
- ・なるべく後ろの車両に乗るようにしている

その他(18件)

- ・携帯電話のカメラをちらつかせる
- ・ひじで体をガードする

「電車で痴漢に遭わないように気をつけていること」の質問について、 の質問から通勤・通学で女性専用車両設置路線を利用していることが確認できた女性1,237人で見ると、「女性専用車両に乗る」を選んだ方は506人（40.9%）

	回答者数	電車で痴漢に遭わないように気をつけていること									
		女性専用車両に乗る	混雑する時間帯を避ける	友人や家族と一緒に乗る	座席の前に立つ	ドアの近くに立たない	つり革を持たない	イヤホンやヘッドホンを 使わない	その他	特 に な い	
回答者全体	2221 100.0	761 34.3	360 16.2	112 5.0	414 18.6	285 12.8	55 2.5	102 4.6	139 6.3	817 36.8	
通勤・通学時に電車で痴漢に遭うのではないかと不安	感じている	254 100.0	125 49.2	62 24.4	21 8.3	69 27.2	56 22.0	12 4.7	21 8.3	22 8.7	28 11.0
	やや感じている	693 100.0	293 42.3	150 21.6	53 7.6	184 26.6	132 19.0	26 3.8	58 8.4	46 6.6	132 19.0
	あまり感じていない	914 100.0	267 29.2	115 12.6	31 3.4	139 15.2	85 9.3	15 1.6	20 2.2	55 6.0	427 46.7
	感じていない	360 100.0	76 21.1	33 9.2	7 1.9	22 6.1	12 3.3	2 0.6	3 0.8	16 4.4	230 63.9

3 男性の回答状況

回答	実数	%
10歳代	57	5.5
20歳代	294	28.4
30歳代	309	29.9
40歳代	249	24.1
50歳代	125	12.1
60歳以上	1	0.1
不明	0	0.0
全体	1035	100.0

回答	実数	%
埼玉県	128	12.4
千葉県	104	10.0
東京都	350	33.8
神奈川県	182	17.6
愛知県	69	6.7
大阪府	141	13.6
兵庫県	61	5.9
不明	0	0.0
全体	1035	100.0

通勤・通学で最も混雑する路線

回答	実数	%
JR線	482	46.6
東急線	45	4.3
西武線	29	2.8
東武線	29	2.8
京急線	26	2.5
京成線	10	1.0
京王線	37	3.6
小田急線	31	3.0
相鉄線	5	0.5
名鉄線	15	1.4
近鉄線	6	0.6
阪急線	24	2.3
阪神線	6	0.6
京阪線	16	1.5
南海線	7	0.7
東京メトロ	126	12.2
都営地下鉄線	28	2.7
横浜市営地下鉄	7	0.7
名古屋市営地下鉄	37	3.6
大阪市営地下鉄	48	4.6
その他	21	2.0
不明	0	0.0
全体	1035	100.0

最も混雑する路線を利用する時間帯

回答	実数	%
午前6時台	28	2.7
午前7時台	421	40.7
午前8時台	427	41.3
午前9時台	46	4.4
午前10時台	6	0.6
午前11時台	1	0.1
午後0時台	1	0.1
午後1時台	1	0.1
午後2時台	1	0.1
午後3時台	1	0.1
午後4時台	3	0.3
午後5時台	7	0.7
午後6時台	27	2.6
午後7時台	29	2.8
午後8時台	7	0.7
午後9時台	7	0.7
午後10時以降	22	2.1
不明	0	0.0
全体	1035	100.0

過去1年間に電車で目撃したもの(複数回答)

回答	実数	%
痴漢行為	84	8.1
スリ・置き引き	30	2.9
口論・けんか	437	42.2
暴力行為	103	10.0
経験はない	562	54.3
不明	0	0.0
全体	1035	100.0

痴漢を目撃したときの行動(複数回答)

回答	実数	%
犯人を捕まえた	16	19.0
痴漢を止めるよう犯人に働きかけた	22	26.2
被害者に声をかけた	27	32.1
どのような行動もとらなかった	38	45.2
その他	7	8.3
不明	0	0.0
非該当	951	
全体	84	100.0

その他の内容(抜粋)

- ・別の人が捕まえた
- ・犯人を追いかけた
- ・既に捕らえられていた
- ・他の目撃者とともに犯人を捕まえた

犯人を捕まえた理由(複数回答)

回答	実数	%
被害者がかわいそうだった	10	62.5
犯人を許せないと思った	14	87.5
痴漢行為は許せないと思った	9	56.3
その他	1	6.3
不明	0	0.0
非該当	1019	
全体	16	100.0

その他の内容

・仕事柄

痴漢行為を目撃したとき、どのような行動もとらなかった理由(複数回答)

回答	実数	%
関わり合いになるのが面倒だ	14	36.8
捕まえると逆恨みされそう	8	21.1
急いでいたので時間をとられるのがいやだった	12	31.6
犯人との確証が持てなかった	22	57.9
その他	6	15.8
不明	0	0.0
非該当	997	
全体	38	100.0

その他の内容(抜粋)

- ・遠くで見かけた
- ・女性がすぐにその場から離れて行ってしまったから
- ・自分とは離れた場所で痴漢騒ぎがあったのを目撃しただけなので
- ・離れた所にいたので何も出来なかった

通勤・通学時に電車内で痴漢に間違えられる不安

回答	実数	%
感じている	223	21.5
やや感じている	394	38.1
あまり感じていない	270	26.1
感じていない	148	14.3
不明	0	0.0
全体	1035	100.0

痴漢に間違われないように気をつけていること(複数回答)

回答	実数	%
両手でつり革を持つ	460	44.4
手を上の方に上げておく	428	41.4
なるべく女性の近くには乗らないようにする	426	41.2
混雑する時間帯を避ける	111	10.7
混雑する路線を避ける	38	3.7
その他	53	5.1
特にない	197	19.0
不明	0	0.0
全体	1035	100.0

その他の内容（抜粋）

- 両手をふさぐ/本を読む(29件)
 - ・鞆を両手で持ったり、つり革と鞆で両手をふさいだ状態にする
- 座る(11件)
 - ・座る。荷物で女性との間にクッションを作る
- 乗車場所に気をつける(7件)
 - ・ドアから離れた奥の方の割合空いているところに行く
- その他(6件)
 - ・なるべく空いている車両に乗る
 - ・女性が近くに乘って来たら電車を降りる

	回答者数	痴漢に間違われないように気をつけていること						
		持両 つ手 で つり 革を	げ手 てを お上 くの 方に 上	い近 よく るに はく す乗 ら性 なの	を混 避雑 けす る時 間帯	避混 け雑 する 路線 を	そ の 他	特 に な い
回答者全体	1035 100.0	460 44.4	428 41.4	426 41.2	111 10.7	38 3.7	53 5.1	197 19.0
通勤・通学 時に電車内で 痴漢に間違え られる不安	感じている	223 100.0	146 65.5	132 59.2	123 55.2	36 16.1	16 7.2	5 2.2
	やや感じている	394 100.0	190 48.2	209 53.0	185 47.0	42 10.7	14 3.6	35 8.9
	あまり感じていない	270 100.0	92 34.1	68 25.2	91 33.7	21 7.8	6 2.2	81 30.0
	感じていない	148 100.0	32 21.6	19 12.8	27 18.2	12 8.1	2 1.4	11 7.4

電車内の防犯カメラは痴漢と間違えられることの防止に役立つか

回答	実数	%
そう思う	416	40.2
ややそう思う	412	39.8
あまりそう思わない	171	16.5
そう思わない	36	3.5
不明	0	0.0
全体	1035	100.0

痴漢を捕まえて遅刻した場合、遅刻扱いしない決まり

回答	実数	%
ある	61	5.9
ない	499	48.2
わからない	475	45.9
不明	0	0.0
全体	1035	100.0

4 男女共通項目の回答状況

痴漢を防止するために効果的だと思うこと

回答	女性		男性		男女合計	
	実数	%	実数	%	実数	%
車内での抑止を促すアナウンス	726	32.7	259	25.0	985	30.3
ポスターでの防止広報	270	12.2	118	11.4	388	11.9
駅などでの防止キャンペーンなどのイベント	217	9.8	104	10.0	321	9.9
女性専用車両	1219	54.9	500	48.3	1719	52.8
電車内の防犯カメラ	1061	47.8	415	40.1	1476	45.3
時差出勤	713	32.1	318	30.7	1031	31.7
企業や学校等での痴漢防止教室	125	5.6	56	5.4	181	5.6
警察の取締り強化	951	42.8	304	29.4	1255	38.5
犯人の職場に連絡して指導してもらう	537	24.2	110	10.6	647	19.9
駅や電車内での警察官やガードマンの警戒	942	42.4	311	30.0	1253	38.5
不明	5	0.2	2	0.2	7	0.2
全体	2221	100.0	1035	100.0	3256	100.0

痴漢を防止するために効果的だと思うこと・自由回答のまとめ（女性）

車内や通報システムの改善、混雑の解消など（174件）
 女性の服装の改善、本人の意識・行動を改めるなど（164件）
 専用車両の整備など（98件）
 厳しい罰則・取締りの強化など（97件）
 警察官・駅員による巡回や車内警備など（86件）
 TV、ポスター、車内アナウンス等による注意喚起など（67件）
 周囲の人の意識改善や共助意識の喚起など（59件）
 防犯グッズの利用促進など（12件）
 その他（72件）

痴漢を防止するために効果的だと思うこと・自由回答のまとめ（男性）

専用車両の整備など（105件）
 車内や通報システムの改善、混雑の解消など（84件）
 厳しい罰則・取締りの強化など（65件）
 女性の服装の改善、意識・行動を改めるなど（41件）
 モラル教育・気配り・啓発活動の強化など（25件）
 その他（84件）

男女を合わせた「混雑の解消」
 を求める意見は108件

電車内に防犯カメラを設置することについて

回答	女性		男性		男女合計	
	実数	%	実数	%	実数	%
賛成	925	41.6	463	44.7	1388	42.6
どちらかといえば賛成	961	43.3	372	35.9	1333	40.9
どちらかといえば反対	290	13.1	139	13.4	429	13.2
反対	45	2.0	61	5.9	106	3.3
不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0
全体	2221	100.0	1035	100.0	3256	100.0

電車内の防犯カメラは痴漢防止に役立つか

回答	女性		男性		男女合計	
	実数	%	実数	%	実数	%
そう思う	909	40.9	413	39.9	1322	40.6
ややそう思う	987	44.4	431	41.6	1418	43.6
あまりそう思わない	280	12.6	145	14.0	425	13.1
そう思わない	45	2.0	46	4.4	91	2.8
不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0
全体	2221	100.0	1035	100.0	3256	100.0

電車内の防犯カメラはプライバシー侵害となるか

回答	女性		男性		男女合計	
	実数	%	実数	%	実数	%
そう思う	219	9.9	167	16.1	386	11.9
ややそう思う	833	37.5	331	32.0	1164	35.7
あまりそう思わない	857	38.6	341	32.9	1198	36.8
そう思わない	312	14.0	196	18.9	508	15.6
不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0
全体	2221	100.0	1035	100.0	3256	100.0

痴漢行為について・自由回答のまとめ（女性）

許せない・不快だ・怖いなど嫌悪感、恐怖感についての意見(419件)
 防犯カメラの設置に賛成 / 痴漢や混雑の防止策はもっと必要などの意見(268件)
 判定が難しい・えん罪が怖いなど痴漢事犯特定の困難さなどについての意見(99件)
 厳しく処罰・取締りすべきなど処罰などについての意見(93件)
 自己防衛が必要など本人の意識・行動についての意見(74件)
 防犯カメラの設置に反対 / 防犯カメラで痴漢は防止できないなどの意見(54件)
 その他(202件)

痴漢行為について・自由回答のまとめ（男性）

冤罪防止を望むなど冤罪などについての意見(171件)
 卑劣 / 許せない行為など犯人の意識・行動についての意見(140件)
 カメラ設置についての意見(60件)
 男女別車両の整備などについての意見(34件)
 厳しい罰則・取締りなど処罰などについての意見(34件)
 女性の服装・意識など本人の意識・行動についての意見(33件)
 混雑解消など交通改善についての意見(24件)
 モラル / 意識の問題など啓発や教育についての意見(14件)
 その他(123件)

資料3

グループ・インタビュー

1 調査の趣旨

インターネットによる意識調査とは別に、痴漢事犯の被害者となり得る女性や目撃者となり得る者について、女性、男性に分けてグループ・インタビューを行い、痴漢事犯に関する「生の声」について聴取したものを。

2 実施日時

平成22年11月11日（木）午後3時から4時までの間

3 調査対象者

東京圏に居住する女性17人（22歳から46歳まで、平均年齢33.8歳）及び男性23人（20歳から70歳まで、平均年齢38.7歳）

4 主な意見

(1) 女性

（埼京線の防犯カメラ設置車両の）窓の部分に「防犯カメラがついています」というのが貼ってあったので、あれはすごくいいかなと思いました。

目の前で痴漢が行われていて、自分が男の人の腕でも掴んで、一緒に行きましょうと、こうやり切れるのか。

降りた駅で誰に言えばいいのか。自動改札で駅員さんがあまりいないし、よく分からない。

通報しても、これから仕事へ行くなり学校へ行くなり時間を割かれてしまう。相手が認めなかったりすると、またまた日がかさむ。そういうのになるのは面倒くさい。（だから）自分が降りればいいのかとか、そういうふうに思ってしまうのでは。

実際、痴漢に遭ったとしても、相談する場所は交番なのかとか、110番でいいのかとかというのが分からないんです。

メリットが多ければと思いますよね。通報したところで、本当にされたと疑われるのではないとか、時間の拘束が長いのではないとか、そういうデメリットを考えてしまうと、これぐらいなら我慢しようかなと思わなくもない気がして。

CMとか張り紙とかで、こういう窓口に行けば、女性スタッフがいて痴漢の相談がしやすいシステムが整っていますよとか、そういう仕組み作りをしていけば、割と痴漢はいけないという倫理観とか、モラルが浸透していったら、かつ窓口にも行き

やすいような仕組みが作られるのではないのかな。

(電車内の)アナウンスは増えていますよね。

やはりデメリットしかさっきから出てこない。でも、触られました、通報しました、何かいいことがある。とりあえず、私、勇気を持って頑張ったと、こう思える形。

何か、今これをするこれがもれなくついてくるみたいな感じでやると、結構食いついてくるのではないのかな。

(鉄道会社も、警察も)おかげさまでという電話をすべき。仕事をさぼってではないですけれども、そんなことにいちいち付き合っ、大事な仕事に遅れてという方が先になってしまうでしょうから。被害者ならともかく、協力者というのは。

ともかく啓蒙活動とか、そういうのが足りなさすぎる。どこに連絡していいかも分からないし。

これから被害に遭う年頃になる子たちに、あと犯罪者になるかもしれない男の子も含めて、これはしてはいけない、こういうことをされたら嫌なんだよと、教育の段階からちゃんと(すべきでは)。

電車に乗っている時間帯というのはすごく長いので、こういう場合はこういうところにこういう相談をしたらいいですとか、あなたのこういうことは犯罪ですとか、目に付くところに、もうちょっと分かりやすく書いてあってもいいのでは。

例えば何をしたら110番とか、あなたされていませんかみたいな、こういったものは、きっと中吊り広告って高いんでしょうけども、そこを利用するとか。

周りにしても、みんなそうですけれども、無関心すぎるんですよ。それを助けてくれる男の人が、今度、殴られたりとかしてしまいますし。だから、助けても、自分がされてしまったりとか、二次災害も含めてになってしまうと思うと、この程度だったらいいかなというふうに思うのでは。

(2) 男性

今は大体イヤホンやっているでしょう。車内の放送が聞こえないんですよね、あれ。なかなか(電車の)中の方に入らないで、扉のところに溜まっちゃうんですね。だから余計、もしかしたらすぐにでも犯罪のあれ(痴漢)で捕まっちゃうんじゃないかと思ったりすることはありますね。

モラルの改善ですかね。痴漢をする方の問題と、あとされる方の問題ですよ。

刺激的な格好でやってこないことと、痴漢をするというそういうのをモラルを向上させて抑えろとか、そういうやり方をすれば少なくなるのかなとか。

捕まったときのデメリットというか、やったらこうなっちゃいますよみたいなものをもっと認識するといいいのかななんて思います。

企業の社員が痴漢行為をして新聞沙汰になりましたといたら、その企業のダメージは大きいですから。

やっぱり企業の協力というか、各企業の教育というか、そういうところは非常に大事になってくるのかなと思います。というのは、やっぱりコンプライアンスの問題ですとかね。

一企業だってそれは当たり前の話であって、他のコンプライアンスの話はいっぱい企画するんです。うちもします。だけど、こと痴漢に関しては、しているところはほとんどないですから。

小さい時からの教育の部分で、痴漢とか女の子に対してのあれとか、そういったことを交えた上での道徳的なあれ（教育）をやるしかない。

結局、やっぱりモラル的な、道徳的な観念をベースアップ、どんどん上げていって、それで、（痴漢を）やった方が将来的な部分では少なくなってくるかなとは思いますがね。

資料4

大学生へのアンケート

1 実施日

平成22年10月20日（水）

2 調査対象等

電車内の痴漢対策について、本研究会の山本委員が、都内の私立大学生108人（女子学生56人、男子学生52人）にアンケートしたものを。

3 実施結果

(1) 女子学生の結果

ア 「どうすれば通報しやすいか。」との記述式の質問に対し、39人から回答があった。主な回答は次のとおり。

- ・ 女性の駅員、女性警察官を通報窓口に配置 17人
- ・ 短時間で事件処理ができれば 7人
- ・ 周囲の人の協力、言いやすい雰囲気 6人

イ 「痴漢対策で希望することは。」との記述式の質問に対し、26人から回答があった。主な回答は次のとおり。

- ・ 女性専用車両の増加、時間の拡大 11人
- ・ 防犯カメラの設置 2人
- ・ 混雑の緩和 2人

(2) 男子学生の結果

「どうすれば、どうであれば被害者を援助することができると思うか。」との記述式の質問に対し、52人全員から回答があった。主な回答は次のとおり。

- ・ 女性が声を上げるなど、痴漢に遭っていることが明確に分かれれば 13人
- ・ 冤罪に荷担するおそれがあるので、援助できない 6人
- ・ 女性専用車両を増やす 5人
- ・ 防犯カメラなど証拠が確保されれば 3人
- ・ 満員電車を少なくする 3人
- ・ 周りの人たちの助け合いが重要 2人

資料 5

電車内の防犯カメラ設置実験

1 目的

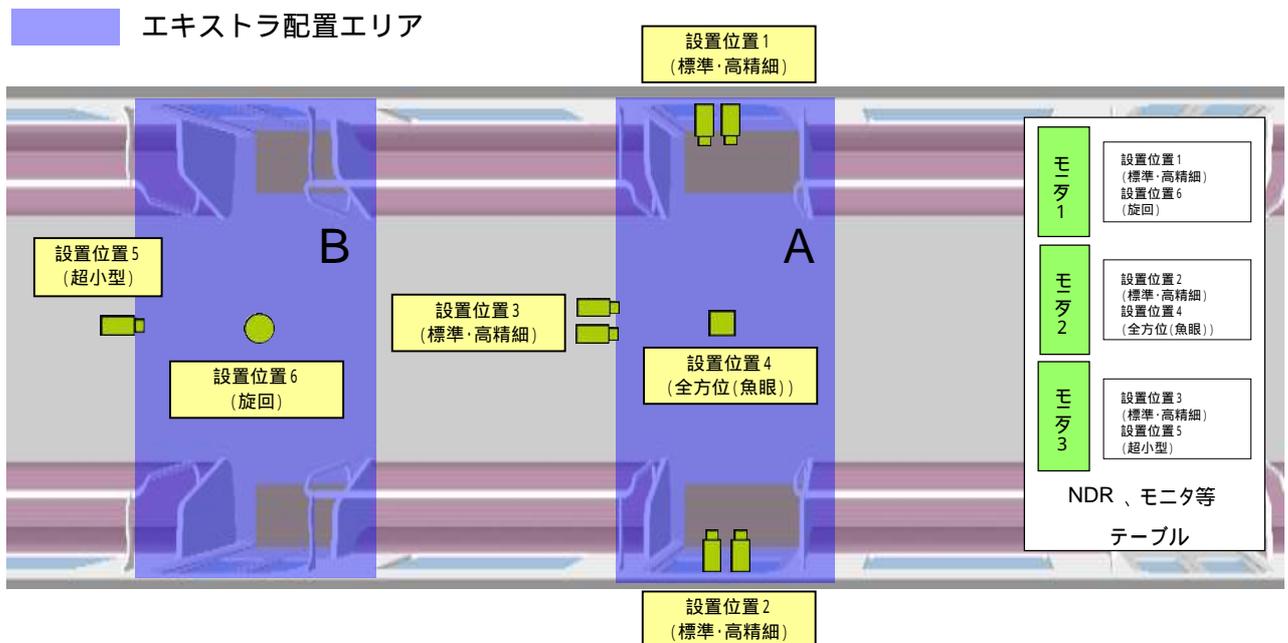
- (1) 電車内における痴漢事犯の発生抑止や捜査に効果的な防犯カメラの検証
- (2) モデルケースを設定の上、整備に係る費用（取付等の作業費を除く、資機材の参考価格）の算出

2 概要

- (1) 実施日時
平成 22 年 11 月 10 日（水）、11 日（木）9:30～17:00
- (2) 実施場所
京王電鉄株式会社 若葉台駅 車両基地
- (3) 実施者
日立フィールド・アンド・ファシリティサービス株式会社、株式会社日立国際電気

3 条件

- (1) 停車中の電車車両において実施
- (2) 車両は、車体長概ね 20 メートル、片側 4 扉の中間車両で、ロングシートの座席
- (3) 車内吊り広告を設置
- (4) エキストラを配置し、混雑度を約 100%、約 150%、約 200%として想定
- (5) 標準カメラ及び高精細カメラ（標準、広角、超広角レンズを装着）、全方位カメラ（魚眼レンズ）、超小型カメラ、巡回カメラを設置し撮影（カメラ配置は下図のとおり）



4 結果

(1) 画角

撮影対象を捉えるためには、超広角レンズが有用と判断する。

(2) カメラの設置位置

	撮影範囲による判断
設置位置 1	扉付近で近接撮影でき、人物の顔、動きが判断できる。対向で設置することで、混雑時に両側からカバーできる。
設置位置 2	
設置位置 3	1 台で設置位置 1, 2 より広い範囲の状況が撮影できる。ただし、車両によっては、吊広告が視界をさえぎるおそれがある。
設置位置 4	画像の歪みが大きく、対象物との遠近差が激しくなるため、実用に向かない。
設置位置 5	固定レンズであるが、扉間中央に設置したカメラと遜色ない。ただし、標準カメラと同程度の画角、画質が求められる。
設置位置 6	旋回中に撮影されない範囲が生じる上、旋回動作を持続させると、可動部分に負担がかかりすぎるため、実用に向かない。

(3) 録画画像の圧縮度

人物の判別を明確にするためには、高画質が有用と判断する。

(4) 画像の解像度

標準カメラで十分な画質が得られると判断する。

(5) 画像の動き

動きを判別するには、フレームレート（1 秒当たりのコマ数）5 f p s が、適度な映像量と判断する。

5 モデルケースの条件設定と機器構成・仕様

(1) モデルケースの条件設定

1 車両を漏れなく撮影しようとするカメラの必要台数が過剰となること、実態調査の結果では電車内における痴漢事犯の多発箇所は左右の扉と扉の間であることを考慮し、次のとおりとする。

案 1：扉付近設置（1 車両当たりカメラ 8 台構成）

案 2：扉間中央設置（1 車両当たりカメラ 4 台構成）

項	項目	内容	備考
1	カメラの設置位置	案 1：扉付近 案 2：扉間中央	車両タイプによって、設置方法の選定が必要。
2	画角	超広角	水平画角 約 100°
3	画像の解像度	標準カメラ	640×480ドット相当
4	録画画像の圧縮度	高画質	画像 1 枚当りのデータ量 J P E G 圧縮方式 43KB 相当
5	画像の動き	5 枚 / 秒以上	

(2) 画像の記録方式による機器構成・仕様

(1) のモデルケースについて、画像の記録方式を、カメラ記録方式及び専用記録装置方式の 2 方式として、それぞれの機器構成及び機器仕様を以下に示す。

なお、画像の記録期間は 3 日以上とし、採用する機器は、鉄道 J I S 規格に準拠するものとする。

ア カメラ記録方式

(ア) 機器構成

概要	カメラ側に記録機能を実装し、下記の機器構成にて構築 各カメラの映像は、各カメラに内蔵したメディアに記録
構成	
内容	構成機器は、カメラ、スイッチ部（POE機能付）、電源装置 各カメラの映像は、各カメラに内蔵したメディア（SDカード）に記録 各カメラの電源は、スイッチ部よりPOE（ ）による供給 POE(Power over Ethernet)：LANケーブルを利用して電源を供給する方式

(イ) 機器仕様

項目	内容	備考	
構成機器	カメラ	画質 VGA (640×480)	ネットワーク化
		超広角レンズ付	水平 約100°程度
		記録機能付	内蔵メディア（SDカード）による録画（最大64GB）
	スイッチ部 (POE機能付)	カメラへの電源供給。 保守用通信。	電源供給は、POEによる供給
電源装置	車両電源から電圧変換を行い必要電源を供給		
記録	画質 VGA (640×480)	最高画質 約43KB/枚 (JPEG圧縮方式におけるデータ量)	
	フレームレート	5枚/秒(fps)	
	1日の記録容量 (3日間記録時)	1日の稼働時間を20時間と想定。 43kbyte×5(fps)×60(秒)×60(分)× 20(時間)×1(日)×1(台) 15.5GB (3日間記録時 約46.5GB)	
	記録メディアの確認	SDカードによる交換	
特徴	機器構成が少ない。	設置自由度が高い。	

イ 専用記録装置方式

(ア) 機器構成

概要	カメラ（記録機能無）と専用記録装置を使用し、下記の機器構成にて構築 各カメラの映像は、全て専用記録装置に記録
構成	
内容	<p>構成機器は、カメラ、スイッチ部（POE機能付）、専用記録装置、電源装置</p> <p>各カメラの映像は、全て専用記録装置に記録</p> <p>各カメラの電源は、スイッチ部よりPOE（ ）による供給</p> <p>スイッチ部、専用記録装置の電源は、電源装置から供給</p> <p>POE(Power over Ethernet)：LAN ケーブルを利用して電源を供給する方式</p>

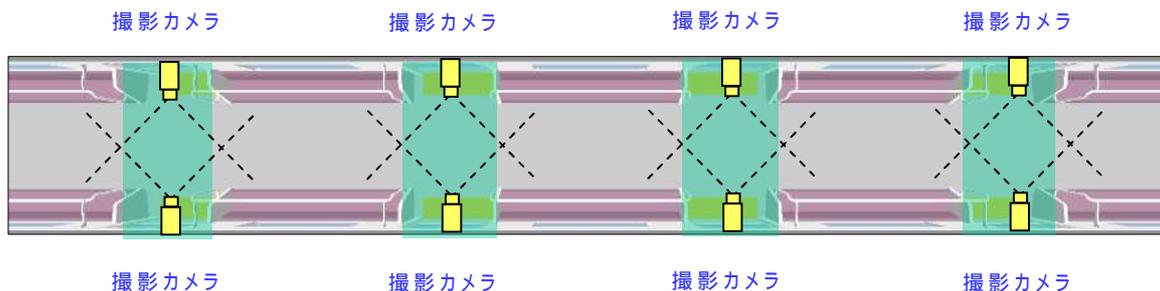
(イ) 機器仕様

項目	内容	備考
構成機器	カメラ	画質 VGA (640×480) ネットワーク化
	超広角レンズ付	水平 約 100°程度
	専用記録装置	各カメラ映像を全て記録 HDD (500GB) を使用した大容量記録が可能
	スイッチ部 (POE機能付)	カメラへの電源供給。カメラ～記録装置間の通信。
電源装置	車両電源から電圧変換を行い必要電源を供給	
記録	画質 VGA (640×480)	最高画質 約 43KB/枚 (JPEG 圧縮方式におけるデータ量)
	フレームレート	5 枚 / 秒 (fps)
	1 日の記録容量 (3 日間記録時)	1 日の稼動時間を 20 時間と想定。 43kbyte × 5 (fps) × 60 (秒) × 60 (分) × 20 (時間) × 1 (日) × 8 (台) 124GB (3 日間記録時 約 372GB)
	記録メディアの確認	HDD による交換 (地上側再生設備として専用記録装置を準備)
特徴	専用記録装置により集中録画	記録メディアの交換が 1 車両 1 箇所済む。大容量のため長時間録画に向いている。

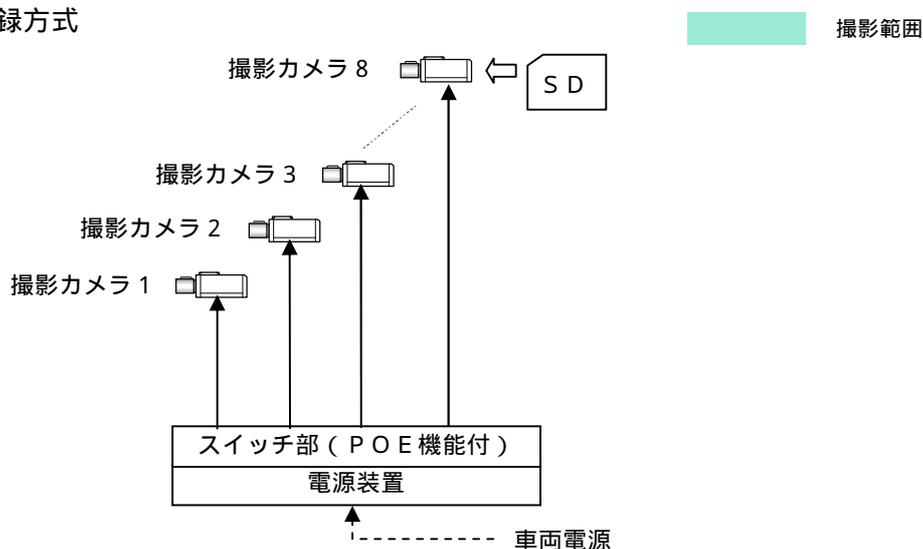
6 提案するモデルケースと参考価格

なお、参考価格には、構築設計費・検査費等、取付け・配線・調整等の作業費・材料費、車体ごとに異なる装備品（収納ケースなど）は含まない。

(1) カメラ設置案1（扉付近に設置）



ア カメラ記録方式



機能

項目	機器	備考
機器構成	標準カメラ	画像圧縮伝送機能、記録メディア（SDカード等）による録画機能付。超広角レンズ、車両搭載用ハウジングを含む。記録メディアは別途必要。
	スイッチ	給電・保守用通信に使用。車両搭載対応。
	電源装置	電圧変換等を行い、必要電源を供給

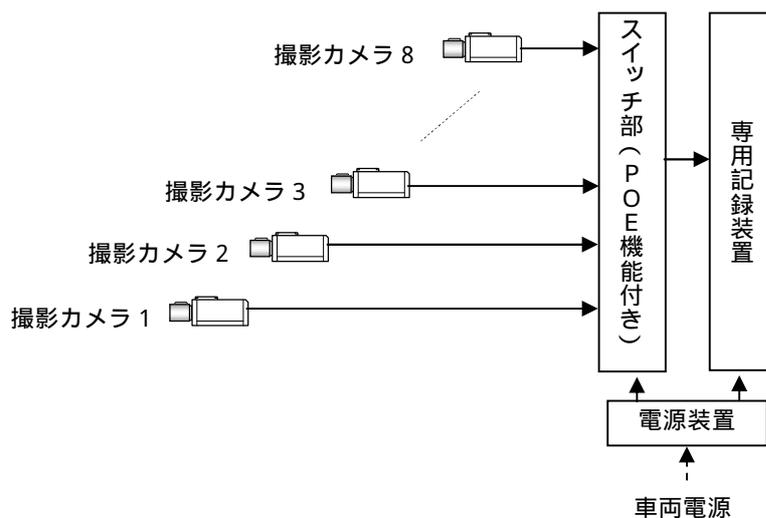
1 車両当りの参考価格

項番	構成機器	員数	参考価格
1	標準カメラ	8	@130,000 × 8 = 1,040千円
2	スイッチ	1	@200,000 × 1 = 200千円
3	電源装置	1	@220,000 × 1 = 220千円
		合計	1,460千円

消耗品（別途準備が必要）

項番	記録メディア	必要数	実勢価格	備考
1	SDカード（64GB）	8	@30,000 × 8 = 240千円	JPEG 圧縮方式採用
2	SDカード（32GB）	8	@15,000 × 8 = 120千円	H.264 圧縮方式採用

イ 専用記録装置方式



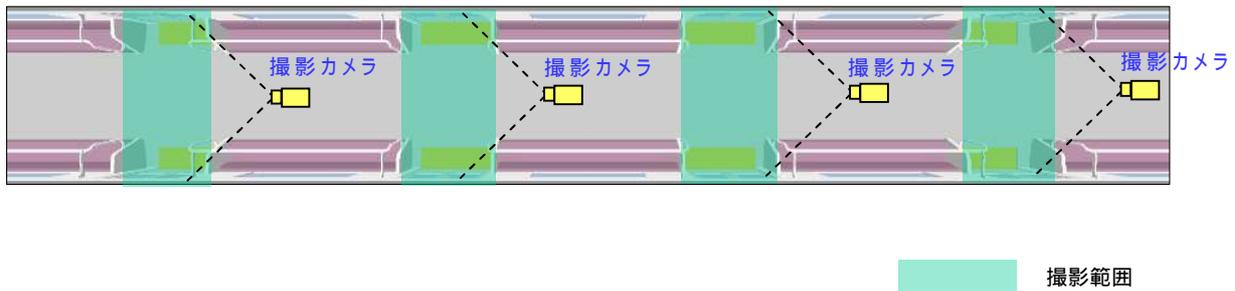
機能

項目	機器	備考
機器構成	標準カメラ	画像圧縮伝送機能付。 超広角レンズ、車両搭載用ハウジングを含む。
	スイッチ	給電・保守用通信に使用。車両搭載対応。
	記録装置 (8 c h)	車両搭載専用記録装置
	電源装置	電圧変換等を行い、必要電源を供給

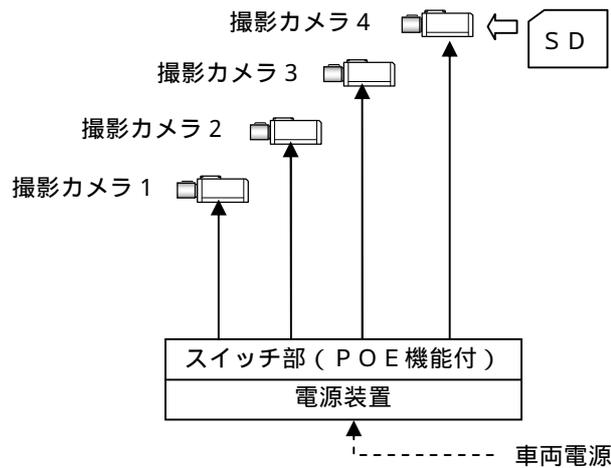
1 車両当りの参考価格

項番	構成機器	員数	参考価格
1	標準カメラ	8	@130,000 × 8 = 1,040千円
2	スイッチ	1	@200,000 × 1 = 200千円
3	記録装置 (8 c h)	1	@800,000 × 1 = 800千円
4	電源装置	1	@220,000 × 1 = 220千円
		合計	2,260千円

(2) カメラ設置案2 (扉間中央に設置)



ア カメラ記録方式



機能

項目	機器	備考
機器構成	標準カメラ	画像圧縮伝送機能、記録メディア(SDカード等)による録画機能付。超広角レンズ、車両搭載用ハウジングを含む。記録メディアは別途必要。
	スイッチ	給電・保守用通信に使用。車両搭載対応。
	電源装置	電圧変換等を行い、必要電源を供給

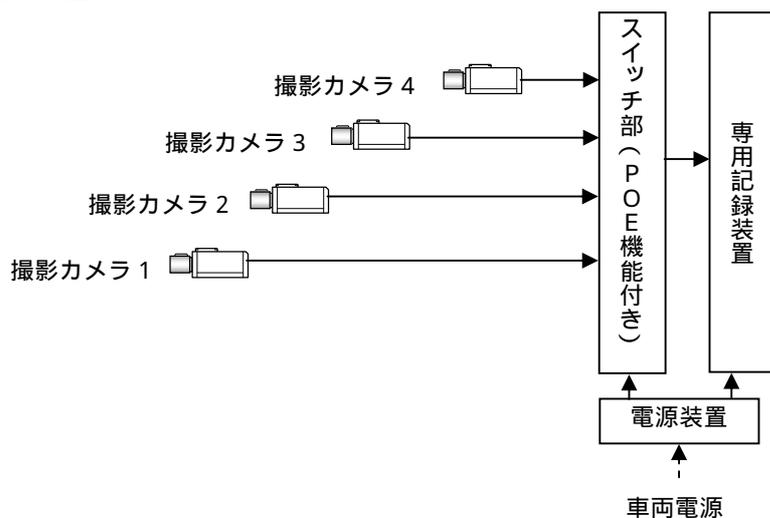
1車両当りの参考価格

項番	構成機器	員数	参考価格
1	標準カメラ	4	@130,000 × 4 = 520千円
2	スイッチ	1	@200,000 × 1 = 200千円
3	電源装置	1	@220,000 × 1 = 220千円
		合計	940千円

消耗品 (別途準備が必要)

項番	記録メディア	必要数	実勢価格	備考
1	SDカード(64GB)	4	@30,000 × 4 = 120千円	JPEG 圧縮方式採用
2	SDカード(32GB)	4	@15,000 × 4 = 60千円	H.264 圧縮方式採用

イ 専用記録装置方式



機能

項目	機器	備考
機器構成	標準カメラ	画像圧縮伝送機能付。 超広角レンズ、車両搭載用ハウジングを含む。
	スイッチ	給電・保守用通信に使用。車両搭載対応。
	記録装置 (4ch)	車両搭載専用記録装置
	電源装置	電圧変換等を行い、必要電源を供給

1 車両当りの参考価格

項番	構成機器	員数	参考価格
1	標準カメラ	4	@130,000 × 4 = 520千円
2	スイッチ	1	@200,000 × 1 = 200千円
3	記録装置 (4ch)	1	@700,000 × 1 = 700千円
4	電源装置	1	@220,000 × 1 = 220千円
		合計	1,640千円

(3) 付加機能

ア 防犯カメラに付加すべき推奨機能

(ア) ワイドダイナミックレンジ機能

明暗の差が著しい場合に補正する機能。

乗客の混雑度によって、大幅な明るさの変動があるため、非常に有効である。

本機能が付加された防犯カメラを推奨する。

モデルケースは、本機能を付加した機器を選定している。

(イ) ネットワーク方式

伝送をネットワーク化することにより、機器の互換性が高まり、集約したアクセス・保守が可能となる。

モデルケースは、本機能を付加した機器を選定している。

イ 将来発展を見据えた推奨機能

(ア) H. 264 圧縮方式

2011年の地上デジタルテレビ放送完全移行により、映像関連機器や防犯カメラは、ハイビジョン相当の高精細カメラが主流になると予測される。

データ量が膨大となるため、H. 264 圧縮方式による効率的な記録が望まれる。

モデルケースは、本機能を付加した機器を選定している。

(4) 構成比較

構築モデル 比較項目	カメラ設置：案1 (扉付近設置)		カメラ設置：案2 (扉間中央設置)	
	カメラ 記録方式	専用記録 装置方式	カメラ 記録方式	専用記録 装置方式
視認性				
画質				
設置スペース				
記録時間				
保守性 (記録メディア交換)				
機器コスト				

資料 6

首都圏における取締り強化

1 実施期間

平成22年 1月 8日から15日、4月15日から21日、9月 6日から10日の間

2 検挙状況

内訳	電車内での強制わいせつ	8件	8人
	電車内での痴漢	122件	121人
	電車内での盗撮	5件	5人
	電車内での公然わいせつ	1件	1人
	駅施設内での盗撮等	25件	25人
	計	161件	160人

(1) 路線別（期間中 6 件以上の路線）

12件	埼京線
10件	中央線
9件	京王線
8件	東海道線
6件	小田急線、田園都市線、総武線

(2) 時間帯

4～6時台	7～9	10～12	13～15	16～18	19～21	22～0
2	89	7	2	19	25	17

7～9時台が55.3%

(3) 被害者

年齢	14歳以下	15～19	20～24	25～29	30歳代	40歳以上	
	4	77	35	22	14	3	
職業等	中学生	高校生	大学生	専門学校生	会社員	その他	無職
	5	56	19	7	40	13	15

15～19歳が49.7%、20歳代が36.8%

高校生が36.1%、会社員が25.8%

(4) 被疑者

年齢	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	9	39	50	37	20	5
職業等	会社員	自営業	その他	学生	無職	
	98	3	20	11	28	

会社員が61.3%

3 検挙事例

(1) 被害女性は、通勤に利用している電車内で、被疑者に手を掴まれて、その下半身を

無理矢理に触らされる被害に遭い、被疑者を捕まえ警察に通報した。

なお、被害者の精神的ダメージは大きく、通勤時間帯の満員電車に乗ることができなくなり、出勤時間をお昼からにずらしている状態が続いている。

(2) 被害女性から、「通勤の電車内で、毎日同じ男から痴漢被害を受けている。会社まで後を付けられた時もある。会社や家を知られて、つきまとわれるのではないかと思うと不安で、怖くて夜も眠れません。」との相談を受理し、同行警乗により、被疑者を逮捕した。

(3) 被害女性から、「通勤の電車内で、痴漢の被害を受け続けている。恥ずかしい思いをしているので取り締まってほしい。」との相談を受理し、同行警乗により、被疑者を逮捕した。

なお、被害女性は、精神的なストレスから、仕事が手につかず不安感が続くなど、情緒不安定であったが、検挙後は精神面も安定した。